【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2009-34970(P2009-34970A)
【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-007
【出願番号】特願2007-203681(P2007-203681)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　45/27　(2006.01)
Ｂ２９Ｌ　31/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　45/27
Ｂ２９Ｌ　31:34

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月8日(2010.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
キャビティＣは固定型２０が形成するキャビティ$Ｃ_1$と可動型３０が形成するキャビティ$Ｃ_2$及び$Ｃ_3$から構成される。このうち、キャビティ$Ｃ_1$及び$Ｃ_2$は成形品１の本体部２を形成する。本体部２は、成形品１が図１に示すデジタルカメラ１００に搭載された場合に、デジタルカメラ１００の部材として機能するのに必要な構成要素である。一方、キャビティ$Ｃ_3$は、成形品１の本体部２に形成された台座６を構成し、台座６はデジタルカメラ１００の部材として機能するのに必要な構成要素ではない。台座６には、ゲート４４が接続される。換言すれば、キャビティ$Ｃ_3$は、型開き方向Ｄに沿って一端$Ｃ_3$ａは型分割面Ｌに接続し、他端$Ｃ_3$ｂは熱可塑性樹脂が導入されるゲート４４に接続される。キャビティ$Ｃ_3$にアンダーカット部としてのスライドコア４６によってその一部が規定される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図３】

